プラグインを買わなくてもできる予実集計

～ノーコード＆ノーマネーで実現～

株式会社テクネコ

加藤 和幸

加藤和幸（かとうかずゆき）

- 株式会社テクネコ　http://www.techneco.co.jp
  - 神奈川県横浜市　2006年8月～　20期目のワンオペ法人
  - ノーコード推進協会 正会員企業 https://ncpa.info/
    - ノーコードいろいろ kintone ＋ プリザンター
  - Facebook: https://www.facebook.com/**kazuyuki.kato**
  - X: オレネコ（**orange_cat**）@neco55760661
- 話せば長くなるkintone歴
  - kintone Café 横浜 Vol.1開催 2014年8月21日
  - 株式会社MOVEDと共同でkintone研修事業「クラウドユニバーシティ」
    - 2014年～12年目 ／ 累計受講者10,000名以上　https://clouduniversity.jp/
    - 創設時のメンバー ／ 研修コース開発＆マスタートレーナー

予実管理ってなに!?

小次郎さんは自分が担当する
東海地方（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）の
2025年の予算と実績の対比を月別に一目で見たい。

欲しいもの

- 都道府県/年/月ごとに予算と実績を集計して1行(1レコード)で対比したい！
- 達成率と差異を計算して表示したい！
  - 達成率　実績÷予算（単位:%）
  - 差異　実績－予算（単位:円）

地方	都道府県	年	月	売上予算	売上実績	達成率	差異
東海	愛知県	2025	1	340,000	469,500	138%	129,500
東海	愛知県	2025	2	290,000	324,000	112%	34,000
東海	愛知県	2025	3	280,000	240,000	86%	-40,000

行く手を阻むkintoneの基本機能の限界！

- グループ化して集計
  - ~~実績管理アプリの日単位の実績を月単位に合計したい！~~
- 複数アプリの結合
  - ~~予算管理アプリと実績管理アプリを都道府県x年x月で結合したい！~~

基本機能に無いなら
プラグインを買えば
いいじゃない。

krewDataを使えば
簡単だけど
<u>諸般の事情で</u>
買えない (T_T)

オレたちにはExcelがあるじゃないか！

- 用意するもの
  - kintoneスタンダードコース以上
    - ライトコースは使えません
  - 各アプリのAPIトークンを作成しておく
    - APIトークンはログイン名とパスワードを代替する文字列
    - アプリの設定 ＞ 設定タブ ＞ APIトークン
    - 権限はレコード閲覧のみでOK ※アプリを更新することを忘れずに！
  - Excel 2016以上またはMicrosoft 365のExcel
- やること
  - ExcelからREST APIでkintoneアプリのレコードを取得して
  - Power Queryで結合＆集計する

これでわかった人は
先にビールのんで
いてください

デモ

kintoneアプリのレコードの読み込み

- Excel データ > Webから
  - またはデータ > データの取得 > その他のデータソースから > Webから
- 詳細設定
  - 以下を設定して「OK」をクリック

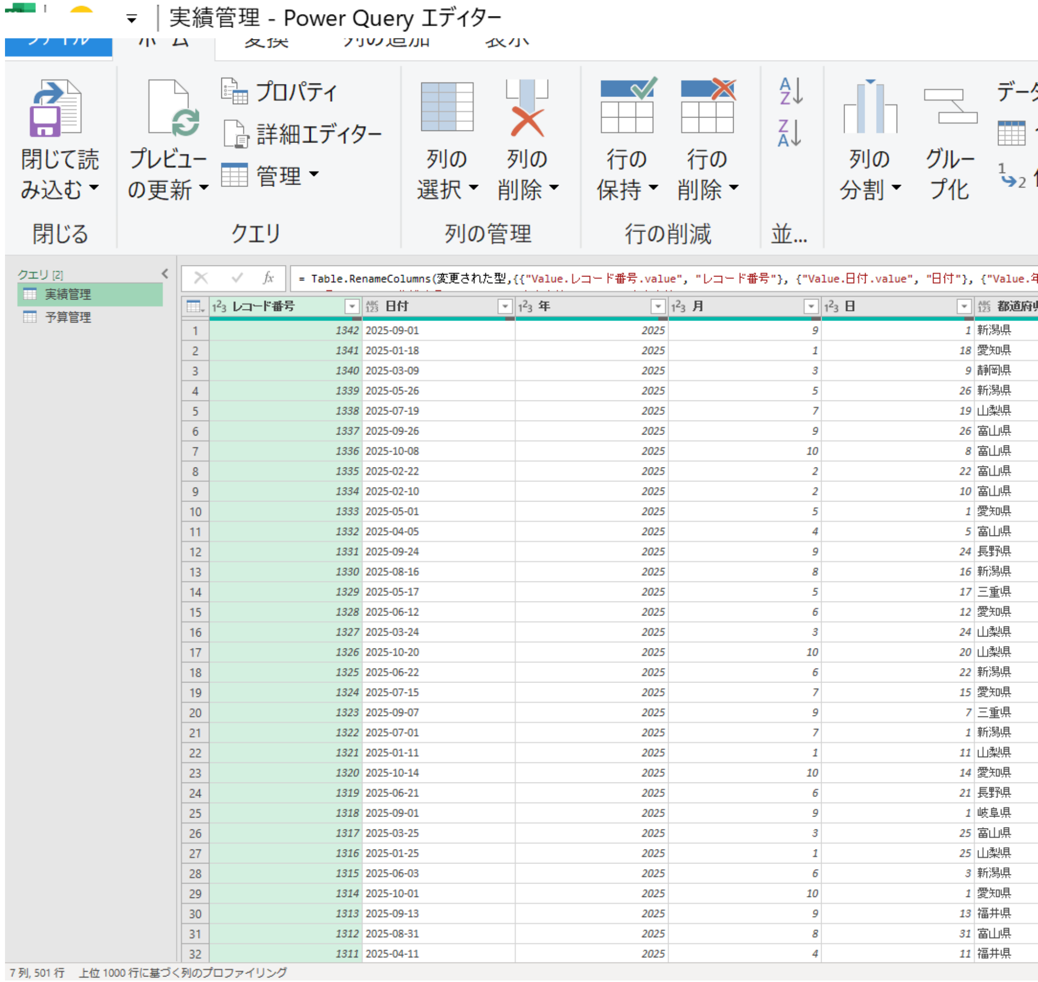
ダブルクォートは半角英数で。
コピペすると“ ”（スマート引用符、U+201C/U+201D）になってエラーになることがあるので注意。

<table>
<tr><td colspan="2">https://＜サブドメイン＞.cybozu.com/k/v1/records.json
例 https://4cmuv.cybozu.com/k/v1/records.json</td></tr>
<tr><td colspan="2">?app=＜アプリID＞&query=limit 500
例 ?app=12&query=都道府県 in (“岐阜県”,“静岡県”,“愛知県”,“三重県”) and 年 = 2025 limit 500</td></tr>
<tr><td>X-Cybozu-API-Token</td><td>＜アプリのAPIトークン＞</td></tr>
</table>

このサブドメインのkintoneで
このアプリからこの条件で最大500レコード取得したいです。
ログイン情報は＜APIトークンの値＞です。

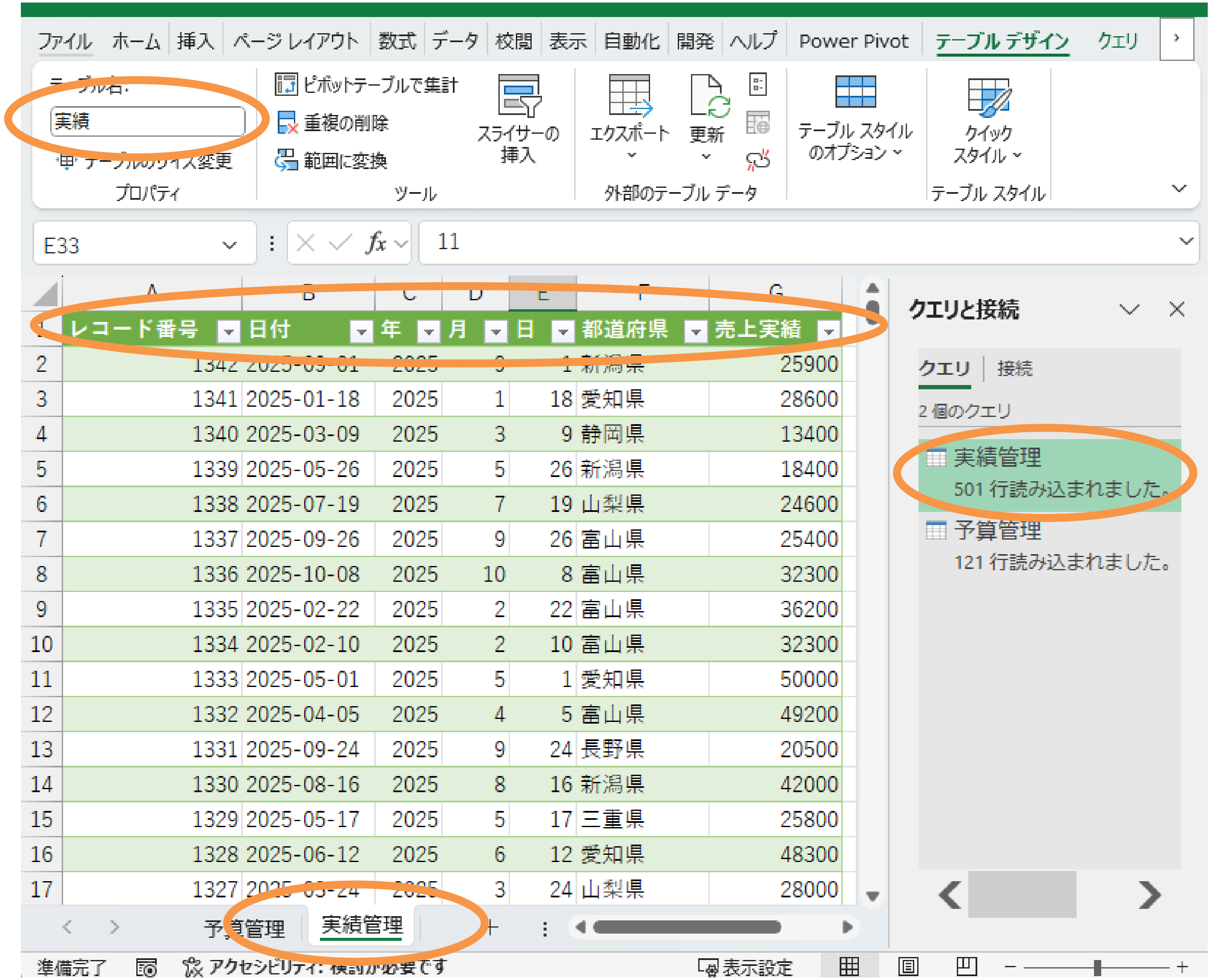
Power Queryで展開して編集

1. 「テーブルへの変換」
2. Valueを「新しい行に展開する」
3. さらにValueを「新しい行に展開する」
4. 不要な列を削除
   - Name,作成者,作成日時,更新者,更新日時,$id,$revision
5. 列の左右を入れ替え
   - レコード番号,日付,年,月,日,都道府県,売上実績
6. Valueのみ値を抽出
7. データ型を変更
   - 特に整数,日付の列に注意する
8. 列の名前を変更
9. 「閉じて読み込む」をクリック



Excelで仕上げ

1. クエリ名を変更
2. シート名とテーブル名を設定
3. テーブルデザインで色を選択
4. (必要に応じて)並べ替えを設定



2つのテーブルを結合

1. 「予算管理」クエリを右クリックして「結合」
   ① 「予算管理」でCTRLキーを押しながら「都道府県」「年」「月」の順でクリック
   ② 「実績管理」を選択
   ③ 「実績管理」でCTRLキーを押しながら「都道府県」「年」「月」の順でクリック
   ④ 選択した列の番号の対応を確認 1,2,3…
   ⑤ 結合の種類は「左外部」 ※予算管理アプリのレコードはすべて選択される
2. OKをクリック
3. Power Queryで「実績管理」の「集計」「Σ売上実績の合計」を選択する
4. 「閉じて読み込む」をクリック

達成率と差異を追加して完成！

1. 達成率の列を追加
2. 差異の列を追加
3. 列の書式を設定

一度作っておけば来月以降は
データ > クエリと接続 ＞ すべて更新
をクリックするだけ

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	地方	都道府県	年	月	売上予算	売上実績	達成率	差異
18	東海	愛知県	2025	1	340,000	469,500	138%	129,500
19	東海	愛知県	2025	2	290,000	324,000	112%	34,000
20	東海	愛知県	2025	3	280,000	240,000	86%	-40,000
21	東海	愛知県	2025	4	360,000	368,100	102%	8,100
22	東海	愛知県	2025	5	480,000	444,200	93%	-35,800
23	東海	愛知県	2025	6	220,000	285,600	130%	65,600
24	東海	愛知県	2025	7	500,000	523,400	105%	23,400
25	東海	愛知県	2025	8	440,000	415,700	94%	-24,300
26	東海	愛知県	2025	9	200,000	177,300	89%	-22,700
27	東海	愛知県	2025	10	780,000	689,300	88%	-90,700
28	東海	愛知県	2025	11	250,000		0%	
29	東海	愛知県	2025	12	340,000		0%	
30	東海	岐阜県	2025	1	440,000	374,900	85%	-65,100
31	東海	岐阜県	2025	2	210,000	269,600	128%	59,600
32	東海	岐阜県	2025	3	470,000	420,900	90%	-49,100
33	東海	岐阜県	2025	4	220,000	231,300	105%	11,300
34	東海	岐阜県	2025	5	260,000	339,600	131%	79,600
35	東海	岐阜県	2025	6	610,000	609,700	100%	-300
36	東海	岐阜県	2025	7	340,000	361,000	106%	21,000

さらにステップアップ

- 500レコード以上を全件取得できるようにしたい
- テーブルの最後の空行が美しくないので削除したい

ChatGPT様にお願いしよう！ →できました！

以下はご要望の **(1) limit/offset で全件取得** ＋ **(2) 全列空の行を削除** を満たす、読みやすく高速な Power Query（M）です。
URL 直書きはやめ、`Web.Contents` の `RelativePath` / `Query` を使って安全に構築しています。

powerquery　　コードをコピーする

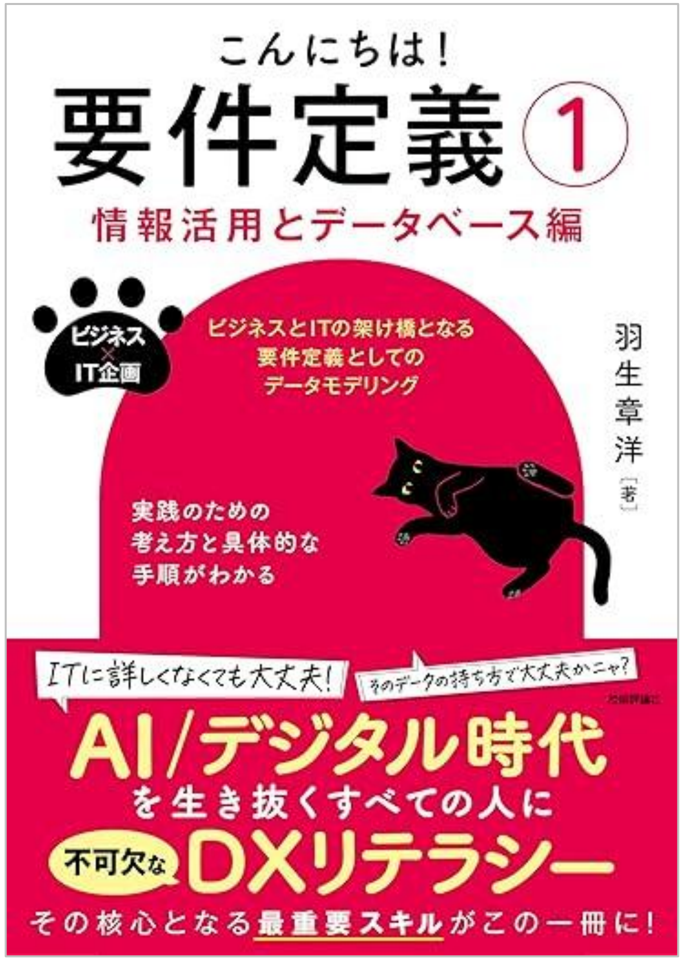
```powerquery
let
    // ===== 設定 =====
    BaseUrl = "https://3fud8.cybozu.com",
    Path    = "/k/v1/records.json",
    AppId   = "7",
    Token   = "<APIトークンを入れてください>",        // パラメータ化推奨
    Limit   = 500,
    Headers = [#"X-Cybozu-API-Token" = Token],

    // 取得条件（質問のフィルタに相当）
    FilterQuery = "地方 in (""東海"")"
```

おまけ

kintone Café 和歌山 Vol.5 でお会いしましょう！

- お申込はいますぐこちらから → → → → → → →
- 日時:12月13日(土) 14:00～17:00
- テーマ
- 場所:新宮ユーアイホテル
- 紀勢本線新宮駅から徒歩7分
- <u>品川駅から乗換1回で到着！</u>
  - 羽田から南紀白浜空港経由もあり

kintoneの使い方はわかっているのに なぜアプリを作れないのか



- kintoneの使い方＝ツールの使い方でしかない
- アプリを作るにはデータ構造の定義が必要
  - データ構造＝データベース
  - 業務(現実世界)のモデリング
- こんにちは！要件定義①【情報活用とデータベース編】
  - 技術評論社（2025年10月21日）
  - 羽生 章洋（著）
  - 単行本： 392ページ
  - ISBN-13 ： 978-4297152376
  - https://amzn.asia/d/60JitQQ